

事務事業名	市子ども育成連合会運営助成事業	事務事業No.	20303000648	所属課	生涯学習課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 子ども会の発展と次世代を担う青少年の健全育成を図るために実施。昭和30年代に始まったと思われる。開始時とは明らかに少子化によって会員数が減少しており、負担の大きさから、事業の実施には欠くことのできない保護者の協力が得にくくなっている。また、他の青少年団体やスポーツ少年団など、子どもを対象とした事業・活動も行われており、子どもを対象とした事業はある意味飽和状態になっていると思われる。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 子供の数が少なくなっており、単位子ども会の活動がなかなかできない状況となっていることから、単位子ども会の統合について連合会として進めてほしいという要望がある。また、新型コロナウイルスの影響により多くの事業が中止となったが、コロナ禍でもできる事業を行うことに対しては賛成の声もある。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 施策体系 青少年活動の充実につながる。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市内の児童生徒を対象としているため、公共関与は妥当であると考えられる。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 事業部会制を取り入れ、ある程度改善は見られたが、団体主導の事業運営の実施による成果の向上が期待される。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 現在の役員の大半が児童生徒の保護者であるため、行政がある程度関与しなければ、会自体が衰退していってしまうと考えられる。
有効性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input checked="" type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 青少年育成桜川市民会議運営助成事業 <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる 同じく児童生徒を対象とした団体との連携を促進することで、更なる成果の向上、経費の削減が期待される。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある 役員構成を変えることにより団体主導による運営を促進することで、担当者の業務時間を削減できると考えられる。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市内全域の児童生徒を対象としているため、公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 事業部会制を取り入れることで、役員会の回数を減らすとともに、保護者目線の意見が反映され、団体主導のよりよい事業運営ができつつある。また、市内高校生や各種団体との連携で、幅広い活動が展開できたことに加え、子どもたちの社会性の向上にもつながった。単位子ども会の活動については、お願いをするだけで、具体的な手立てが取れていない。																								
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加				○											
成果	向上 維持 低下	コスト																								
		削減	維持	増加																						
			○																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 団体主導の運営にするため、役員構成について検討する必要がある。また、単位子ども会の活動を支える取組や、多くの子供たちが参加できる事業を計画する必要がある。		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ②																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価		(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)	
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出		確認欄 <input type="checkbox"/>	